

○ 別表 工種毎の適用区分

	農林工事	土木工事	建築工事	電気設備 工事	機械設備 工事
1 検査確認票	別表 1				
	—	—	別表1-3	別表1-4	別表1-5
2 工事の実施状況 の検査留意事項	別表 2				
3 出来形検査基準	別表3-1	別表3-2	別表3-3	別表3-4	別表3-5
4 品質検査基準	別表4-1	別表4-2	別表4-3	別表4-4	別表4-5
5 できばえの検査 基準 (参考)	別表 5				

別表 1

## 完成・出来形・中間検査 確認票

(全工種)

検査整理番号

検査日

検査員 職 氏名

工事場所

業者名

監督員 職 氏名

確 認 項 目				確 認 状 況				
項目	中項目	細 目	内 容	適	不適	指導	摘 要	
施 工 体 制	I 施工体制 一般	評項 施ブ 09	建退共の証紙が配布され、管理されている。					
		評項	作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。					
		評項 施ブ 13	施工体制台帳、施工体系図が整備。					
		評項	下請届(契約書・支払条件・内訳)					
		施ブ 16	下請の施工体制、施行状況を把握し、部下等とともによく指導している。					
		施ブ 17	建設業許可票の標識が、公衆の見やすい場所に掲示されている。					
		重点確認項目						
	II 配置 技術者	現場代理人	施ブ 18	現場代理人として常駐し、工事全体を把握。				
		主任(監理)技術者	施ブ 20	主任技術者以外に、専門技術者を配置しているか。				
		重点確認項目	監理技術者資格証 下請業者の主任技術者(専任、非専任)					
施 工 状 況	I 施工状況	評項 施ブ 31	契約書第18条第1項第1号～第5号に係わる設計図書の照査を行っている。					
		評項 施ブ 34	施工計画書と現場施工方法が一致している。					
		評項 施ブ 37	工事材料の資料の整理及び確認がされ、管理している。					
		評項 施ブ 38	品質確保のための対策など、施工に関する独自の工夫が見られる。					
		評項	見本又は工事記録写真等の整理に工夫が見られる。					
		評項 施ブ 41	中間検査( 回)及び段階確認( 回)の手続きが事前になされている。					
		評項	工事記録の整備が適時、的確になされている。					
		評項	リサイクルへの取組が適切になされている。					
		評項 施ブ 33	計画内容が変更の場合、当該工事着手前に変更施工計画書を提出している。					
		評項 施ブ 35	施工計画書と現場施工体制等が一致している。 品質証明体系が確立され、有効に機能している。					
	評項 施ブ 36	施工計画書が着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。						
	評項	工事の関係書類及び資料整備がよい。(工事写真、出来形管理、品質管理、提示)						
	評項	社内の管理基準等が作成され管理されている。						
	重点確認項目	産廃委託契約書(運搬、処分、マニフェスト)、量の確認						
	II 工程管理	施ブ 49	設計内容の変更への対応、地元調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行った。					
重要確認項目		実施工程表、履行報告書(土木工事)						
III 安全活動	施ブ 53	安全教育・訓練等を4時間/月以上、適時、適切に実施した記録が整備されている。						
	施ブ 56	過積載防止に積極的に取り組んでいる。						
	重要確認項目	安全パトロール、安全ミーティング(KYK)等の実施内容と現場への反映。						
IV 対外関係 等	施ブ 53	関係官庁等の関係機関との折衝及び調整をした記録がある。						
	重要確認項目	安全施設の設置状況						
創意工夫等	高度技術力	高度技術(施工技術、構造物の難度、技術の難度、厳しい自然、地域条件 等)						
	創意工夫	創意工夫(準備・後片づけ、品質、安全衛生、施工管理、その他)						
社会性 等	地域の貢献度	地域自然環境保全、動植物の保護、現場環境の地域への調和、ボランティアの実施等						
法令遵守等	事故・契約・法令違反	労災・第三者への損害事故、一括下請の判明、建設業法・廃棄物処理法違反、等						
総合評価方式等	評価内容 等	技術提案に記載された事項の履行状況及び措置状況等						
検査等の状況	下請検査	検査回数( 社、 回)						
	社内検査	検査回数( 回)、検査担当:						
		社内の管理基準をはずれたもの:						

注: 1) 重点確認項目は、工事内容の特色等により、検査員が独自に判断した確認内容を記載できるものとする。

別表 1-3

(建築工事)

		確認項目				確認状況			
項目	中項目	細目	出来形	品質・性能	出来ばえ	適	不適	指導	摘要
C 出 来 形 品 質 等	仮設	1 共通仮設	・監督員事務所	・仮設設備	—				
		2 指定仮設	・仮設計画図	・材料規格	・撤去状況				
	土	1 根切・埋戻・盛土	・深度・土量管理表	・根切底・転圧記録	・造成面仕上り				
		2 山止め	・構造	・工法・強度	—				
	地業	1 杭(RC、S)	・杭打設記録	・材料規格・強度	・芯ずれ状況				
		2 ラップル、地盤改良	・材料使用数量	・材料規格・強度	—				
	鉄筋	1 材料・加工・配筋	・径別使用数量	・ミルシート・かぶり厚	・配筋の精度				
		2 接合(重ね ガス圧接)	・箇所数	・探傷試験・引張試験	—				
	コンクリート	1 コンクリート	・打設数量伝票	・配合・強度	・表面仕上がり				
		2 型枠	・寸法精度	・打ち込み型枠材質	・打放ち状況				
	鉄骨	1 材料・工作・溶接・接合	・出荷量・主要部寸法	・鋼材品質・探傷試験	・加工・溶接精度				
		2 錆止め・耐火被覆・メッキ	・皮膜・被膜の厚み	・塗料等数量管理	・メッキ等の仕上り				
	ブロック等	1 コンクリートブロック	・厚み・面積	・ブロック・鉄筋・規格	・目地の通り				
		2 ALC・成型セメント板	・面積・開口補強	・材料目地取付規格	・パネル割り・水切				
	防水	1 アスファルト・シート・塗膜防水	・工法別施工面積	・材料規格・数量管理	・水勾配・膨れ				
		2 シーリング	・種別箇所・断面	・規格・ホントプレーカ	・表面仕上り				
	石	1 壁 2 床 3 面台 4 他	・工法別面積・厚み	・石材の質・張付工法	・割付・色合柄等				
	タイル	1 外壁 2 内壁 3 床	・仕様別施工面積	・材料規格・接着性能	・浮・目地納り				
	木	1 構造・軸組・床組・下地	・材断面・継手仕口	・樹種・等級・金物規格	・加工精度				
		2 造作	・断面寸法	・樹種・等級・加工精度	・納まり				
	屋根	1 鉄板・折板・瓦葺等	・仕様別施工箇所	・葺材規格・葺きむら	・位置見栄え				
		2 樋	・径・箇所・固定	・材料規格・漏水対策	・とおり				
	金属	1 軽鉄下地[天井 壁]	・施工箇所・部材寸法	・材料規格・錆止め	・とおり				
		2 手すり・タラップ	・取付部位・断面	・表面処理・固定	・安全性・機能性				
		3 金属成形板張り	・面積・伸縮継手	・材料規格	・平坦性				
		4 アルミ笠木	・糸幅・施工部位	・表面処理・固定	・とおり				
	左官	1 モルタル・プラスター塗り等	・糸厚・施工部位	・調合・混和剤	・平滑性				
		2 吹付[リシン ロックウール 他]	・施工部位	・材料規格・使用数量	・吹きむら				
	建具	1 金属建具	・寸法・箇所・金物	・材種・表面処理	・操作性				
		2 木製建具	・寸法・箇所・金物	・樹種・表面材塗装	・建付・そり				
3 ガラス・ガラスブロック		・使用箇所別厚み	・ガラス・止め材規格	・クリーニング					
塗装	1 各塗料塗り	・種別部位	・材料規格・使用数量	・塗り残し・むら					
内装	1 床Vシート・ゴムタイル等	・材料別厚・使用量	・材料規格・使用数量	・目違い・不陸					
	2 合成樹脂塗床	・材料使用量	・材料・接着剤規格	・表面性状					
	3 ボード・フローリング張り	・材別厚み・使用量	・材料規格	・目違い					
	4 壁紙・クロス張り	・種別施工部位	・材料規格・留め付	・接着部納り					
	5 畳・カーペット敷き	・施工部位・厚み	・仕様	・不陸・柄合せ					
	6 断熱材・防露	・施工部位・厚み	・畳床規格・パイル長	・発泡のむら					
舗装等	1 各種舗装・砂利敷き	・面積・各層の厚さ	・締固度・密度・強度	・平坦性・透水性					
	2 街きよ・側石・縁石	・断面・延長	・材料規格	・勾配・すりつけ					
	3 フェンス・門柱	・延長・基礎	・材料規格	・とおり					
排水	1 配管・樹	・延長・管径・埋設深	・材料規格・勾配	・蓋のすりつけ					
植栽	1 植樹・地被・芝・は種	・本数・客土・施肥量	・規格・根巻き・支柱	・樹形・景観					
カーテンウオール	1 メタルカーテンウオール	・部位 寸法(ガラス・ガスケット・シール・PC板)	・規格・性能(耐風震火・水機密・断熱・遮音)	・割付・目地通り					
	2 PCカーテンウオール			・映像調整・傷					
ユニットその他	1 フリーアクセスフロア	・面積・床高さ	・耐荷重・表面材性能	・平坦性					
	2 トイレブース・Sパーテーション	・部位・断面	・メカ規格・固定	・ブースの出入り					
	3 プラント・カーテン(レール)	・寸法・箇所	・規格・遮光・防炎	・操作性					
	4 黒板・掲示板・鏡	・寸法・箇所・位置	・製品性能	・納り・見やすさ					
	5 表示 [サイン・触知サイン]	・寸法・箇所・表示	・材質・機能	・視認性・触知性					
	6 煙突ライニング	・内径・断熱厚	・ライニング材質・固定	—					
	7 コーナービート	・取付部位	・材質・固定	・納り・安全性					
	8 家具類・体育施設	・種別寸法・箇所	・材質・取手・金物	・納り・操作性					
改修撤去補修	1 防水改修	・既存防水層処理	・下地[ケレン 水洗 補修]	—					
	2 外壁改修	・浮・クラック計測図	・ピンニング・Uカット・注入	・平坦性					
	3 内装・塗装改修	・施工範囲	・下地処理調整状況	・平坦性					
解体	1 内装・躯体・基礎解体	・範囲・解体処分量	・工法・分別・養生	・リサイクル率・処分					
	2 特別管理廃棄物等	・アスベスト・CCA 木材	・工法・分別・処分	・封じ込め・処分					

別表 1-4

(電気設備工事)

		確 認 項 目				確 認 状 況			
項目	中項目	細 目	出来形	品質・性能	出来ばえ	適	不適	指 導	摘 要
C 出 来 形 ・ 品 質 等	共通	1 共通仮設、地業 コンクリート、左官	・基礎等の寸法	・コンクリート規格、養生	・平滑さ、ひび割れ				
		2 塗装工事	・施工種別	・下処理、むら	・仕上がり状況				
		3 機械設備工事	・材料の種別、位置	・材質・寸法	・仕上がり状況				
	電力設備	1 配線・配管	・材料の規格	・材質・寸法	・通電・配管状況				JIS
		2 ケーブルラック布設	・材料の規格、仕様	・接続状態	・傾り、支持間隔				内線規定
		3 配線(建柱)	・材料の規格、仕様	・根入れ、根かせ	・傾り、支線(柱)				電気用品 取締法
		4 配線(架線)	・材料の規格	・接続絶縁処理	・ケーブルちょう架間隔				電気設備 技術基準
		5 配線(地中)	・材料の規格	・埋設深度 ・ケーブルシート	・埋戻し状況				
		6 接地	・種別、埋設標	・接地抵抗値	・接地極埋設状況				
		7 照明器具	・規格、形式	・点灯、照度分布	・吊りボルト				JIS、JIL
		8 盤類(分電盤・制御盤)	・種別、形式	・絶縁、シーケンス	・支持ボルト				JIS、JE S、JEM
		9 避雷設備	・突針・接地極・導線	・接地抵抗値	・傾り、導線支持				JIS
	受変電・ 静止形電 源装置	1 キュービクル式配電盤	・規格、形状	・絶縁、耐電圧	・据付状態、耐震				JIS、JE C、JEM
		2 開放形配電盤	・規格、形状	・絶縁、耐電圧	・据付状態、耐震				〃
		3 高圧機器	・規格、種別	・操作性能、動作	・据付状態、耐震				〃
		4 直流電源装置	・規格、形状	・性能試験	・据付状態、耐震				〃
		5 交流無停電電源装置	・規格、形状	・性能試験	・据付状態、耐震				〃
	自家発電設備	1 発電機	・規格、表示銘板	・絶縁、耐電圧、運転	・据付状態・耐震 ・防鼠措置				認定証票(装置) JIS、JEC、JEM
		2 原動機	・規格・形状	・運転、騒音	・据付状態・耐震 ・防鼠措置				LES
		3 配電盤	・規格	・性能、動作	・支持、耐震				JIS、JE C、JEM
		4 補機付属装置等	・規格、形状取付状態	・性能、動作	・取付状態				
		5 配管・配線材料	・規格、施工状況	・漏れ、振動、高温部からの離隔	・支持、耐震固定				
	通信・ 情報設備	1 配線材料(電線・電線 保護物・端子盤等)	・規格、形式	・絶縁抵抗 ・区画貫通処理	・傾り、支持材				JIS
		2 構内交換装置 情報通信装置	・形式、容量、機能	・絶縁、耐電圧、動作	・据付状態、耐震				公衆電話 通信法
		3 拡声装置 非常放送装置	・形式、定格	・特性、出力、動作	・据付状態、耐震				消防法
		4 電気時計装置	・形式	・特性、動作	・据付状態				消防法
		5 テレビ共同受信装置	・形式	・特性	・据付状態				BLマーク
6 自動火災報装置 自動閉鎖装置		・形式、容量	・作動、認定票	・取付状態				消防法	

別表 1-5

(機械設備工事)

		確 認 項 目				確 認 状 況			
項目	中項目	細 目	出来形	品質・性能	出来ばえ	適	不適	指導	摘 要
C 出 来 形 備 ・ 品 質 等	共 通	1 配管工事	・材料の種類 ・管径 ・位置	・接続方法 ・防食処置 ・支持方法、間隔 ・水圧試験 ・空気圧試験 ・気密試験 ・各区画貫通処理	・勾配 ・支持の弛み ・埋設状態、深さ				JIS JWWA
		2 保温工事	・材料の種類 ・施工の種類	・材料の密度、厚さ ・施工順序 ・各区画貫通処理	・外装材の納まり ・平滑性				JIS
		3 塗装、防錆工事	・施工部位 ・施工の種類	・材料規格 ・下処理	・塗り残し ・むら				
		4 電気工事	・材料の種類 ・位置	・材質、寸法	・通線 ・配管状態				
		5 関連工事 (地業、コンクリート、左官)	・基礎の寸法	・コンクリート規格、養生	・平滑度、ひび割れ				
	空 調 設 備	1 熱源機器	・規格、仕様	・運転、出力 ・試験成績表	・据付状態(耐震) ・管との接続状態				安衛法 消防法
		2 空気調和機	・構成、仕様	・運転、出力 ・試験成績表	・据付状態(耐震) ・管との接続状態				消防法
		3 放熱器及び付属品	・構成、仕様	・作動	・取付状態				建基法
		4 送風機及びポンプ	・構成、仕様	・運転、出力 ・試験成績表	・据付状態(耐震)				
		5 その他機器	・種別、仕様	・作動	・据付状態				
		6 ダクト及び付属品	・材料の種類、工法 板厚	・漏れ、騒音	・設置状態				
	自 動 制 御	1 自動制御設備	・構成、制御方式	・調整状況、作動	・取付状態				
		2 中央監視制御装置	・構成、機能容量	・総合調整、作動	・据付状態				
	給 排 水 衛 生 設 備	1 衛生器具	・外観	・通水、満水、作動	・取付状態				
		2 ポンプ	・種別、仕様	・運転、能力	・据付状態				
		3 給湯温水機器	・種別、仕様	・能力、作動	・取付状態				
		4 消火機器	・種別、形状	・能力、作動	・取付状態				
		5 厨房機器	・種別、形状	・能力、作動	・据付状態(耐震)				
		6 ガス機器	・種別、形状	・能力、点火	・取付状態(耐震)				
		7 し尿浄化槽	・型式(処理水)	・水張り、総合運転 ・処理水分析	・据付状態				
	昇 降 機 設 備	1 一般エレベータ 一般油圧エレベータ	・型式、仕様 (身障用付加仕様)	・制御、安全装置 (身障用付加機能)	・据付状態(耐震)				
		2 非常用エレベータ	・型式、仕様 (非常用付加仕様)	・制御、安全装置 (非常用付加機能)	・据付状態(耐震)				

別表 2 工事実施状況の検査留意事項

(全工種)

項目	関係書類	検査留意事項	備考
1 契約書等の履行状況	請負契約書 変更請負契約書 共通、標準仕様書 特記、特別仕様書 設計図書、図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書の内容がよく把握されているか。</li> <li>指示、承諾、協議事項等の処理状況は良好か。</li> <li>支給材料、貸与品及び工事発生品の処理状況は良好か。</li> </ul>	共通仕様書(農林、土木) 標準仕様書(建築、設備) 特別仕様書(農林) 特記仕様書(土木、建築、設備)
2 施工体制	計画工事工程表  下請届 施工体制台帳  工事カルテの受領書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置技術者等を含む工程表の内容、提出時期は適切か。</li> <li>品質、安全確保の姿勢、社内体制、損害保険等の加入が適切に行われているか。</li> <li>下請負なしで、適正な内部施工体制ができているか。</li> <li>下請負届の内容、下請体制表、施工体制台帳、施工体系図が適切であるか。また、下請負契約書、下請主任技術者の配置、作業員の資格が明確になっていたか。</li> <li>建設業退職金共済制度に加入し、掛金収納書が提出されているか。事情がある場合は、書面による届出があったか。</li> <li>工事カルテが提出され、受領書があるか。</li> <li>現場詰所、休憩室、便所、(宿舍)等の設備がなされ、また、法定労働時間が厳守されていたか。</li> </ul>	契約後、7日以内  下請届は、下請契約後、7日以内に提出。 施工体制台帳は、添付書類とともに監督員に提出のこと  契約後、1月以内に提出  請負額500万円以上は、契約後10日以内に提出。
現場代理人	社員証等	<ul style="list-style-type: none"> <li>常駐していたか。社員証を携帯しているか。</li> <li>設計内容の理解度、監督員との連絡がされていたか。</li> <li>現場運営が、適切であったか。</li> <li>安全管理指導が適切であったか。</li> </ul>	常駐(約款第10条)
主任(監理)技術者	社員証、資格証等	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模に応じた技術者の配置がされているか。また、社員証、資格証を携帯しているか。</li> <li>設計図書の照査、現場状況の把握が適切にされているか。</li> <li>技術判断が十分であったか。</li> <li>段階確認、中間検査を適時適切に段取りし、実施したか。</li> </ul>	請負額4,000万円以上(建築一式の場合は、8,000万円以上)は専任。(建設業法第26条第3項) 下請額4,500万円以上(建築一式の場合は、7,000万円以上)は監理技術者。
3 施工状況	施工計画書 工事打合簿 使用資材届 出来形管理図 工事写真等	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工計画書、施工(承認)図の内容が適切に行われていたか。</li> <li>出来形管理、工事写真が適正に整理されているか。</li> <li>材料及び施工中の試験、検査記録等の品質管理が適正に行われていたか。</li> <li>工事日誌、打合せ記録、協議記録が書面で整理されているか。</li> <li>工事現場のイメージアップの工夫がされているか。</li> <li>工事の後片づけが、良好にされているか。</li> </ul>	
4 工程管理	実施工程表 工事履行報告書	<ul style="list-style-type: none"> <li>工程表による適正な管理が行われていたか。</li> <li>適正な計画に基づく履行状況について、報告されていたか。</li> </ul>	遅れた場合の対策(約款第11条) 毎月1回提出
5 安全対策	安全日誌等	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場への立入制限、安全標識、保安施設が良好に行われていたか。</li> <li>安全巡視、パトロールが十分に行われていたか。</li> <li>新規入場者教育、KYK等の安全教育が十分に行われていたか。</li> <li>保護具の装着が守られていたか。</li> <li>道路交通法、労働安全衛生法等を遵守していたか。</li> <li>車両、機械類の点検が行われていたか。</li> </ul>	写真 安全日誌 責任者の専任 月ごとに半日以上
6 対外関係等	マニフェスト集計表	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連工事との連絡調整、地元関係者との調整が良好になされていたか。</li> <li>騒音、振動、大気汚染、水質の汚濁等周辺環境の保全に十分配慮されていたか。</li> <li>建設副産物の分別、保管が良好に行われていたか。</li> <li>産業廃棄物の運搬、処分の委託契約、マニフェストが整理し管理されているか。</li> <li>工事に適用される法律上の手続き(警察、県、市町村等)が、適切に行われていたか。</li> </ul>	書類提出
7 事故、違反等の有無		<ul style="list-style-type: none"> <li>労災事故や第三者に損害を与えた事故等は無かったか。</li> <li>契約違反は無かったか。</li> <li>建設業法、廃棄物処理法、労働基準法、道路交通法等の法律違反は無かったか。</li> </ul>	一括下請負、義務履行違反、過積載等 (約款第1条第1項)

別表 3-1 出来形検査基準

(農林工事)

工 種	内 容	検 査 密 度	
1 共 通 工 事	1. 掘 削	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		幅	
		法 長	
		施 工 延 長	
	2. 盛 土	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		幅	
		法 長	
		施 工 延 長	
	3. 石積み	基 準 高	基準高、法長、施工延長は、100mにつき1カ所以上測定する。ただし、 施工延長100m以下は2カ所測定する。 控長・厚さは、工事写真・出来形管理図で確認できない場合は、抜石 (ブロック)により1,000㎡につき1カ所測定する。ただし、1,000㎡ 以下は2カ所測定する。 なお、抜け石(ブロック)検査の箇所の選定に当たっては、かたよること なく全体が把握できるように適切に選定する。
		厚 さ	
法 長			
施 工 延 長			
凹 凸			
4. 張ブロック	基 準 高	基準高、法長、施工延長は、200mにつき1カ所以上測定する。ただし、 施工延長200m以下は2カ所測定する。 控長・厚さは、工事写真・出来形管理図で確認できない場合は、抜石 (ブロック)により1,000㎡につき1カ所測定する。ただし、1,000㎡ 以下は2カ所測定する。 なお、抜け石(ブロック)検査の箇所の選定に当たっては、かたよること なく全体が把握できるように適切に選定する。	
	幅		
	厚 さ		
	施 工 延 長		
5. 基礎杭打工 木杭、鋼管杭、深礎 杭、既成コンクリート杭、 場所打ち杭	基 準 高	施工本数5本につき1本以上測定する。	
	偏 心		
6. 矢板打工 (矢板護岸を含む)	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。ただし、施工延長100m 以下は2カ所測定する。 または、施工延長250枚につき1カ所以上測定する。ただし、施工延長 250枚以下は、2カ所以上測定する。	
	中心線のずれ		
	施 工 延 長		
7. オープンケーソン	基 準 高	1基ごとに1カ所以上測定する。	
	幅		
	厚 さ		
	高 さ		
	長 さ		
偏 位			
8. コンクリート吹付工 モルタル吹付工	吹 付 厚 さ	施工面積3,000㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、施工面積3,000㎡以下は2カ所測定する。 (施工端部、岩等の突出部の特殊な場合は適用しない。)	
9. 栗石基礎 砕石基礎 砂基礎 均しコンクリート	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。	
	幅		
	厚 さ		
	施 工 延 長		
10. コンクリート 付帯構造物  コンクリート基礎 コンクリート側溝 コンクリート管渠 横断構造物 コンクリート擁壁 その他、上記 に準ずるもの	基 準 高	施工延長200mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。	
	幅		
	厚 さ		
	高 さ		
	施 工 延 長		
	(又は長さ)		

工 種		内 容	検 査 密 度
1 共 通 工 事	11. 精度を要するもの	基 準 高	1基ごとに1カ所以上測定する。
		幅	
		厚 さ	
		高 さ	
		長 さ	
	12. U字溝	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		中心線のずれ	
		施 工 延 長	
	13. 土水路	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		幅	
		高 さ	
		施 工 延 長	
	14. 抑止アンカー工 (緊張するアンカー)	削 孔 長	段階確認及び中間検査結果の資料等により検査する。
		削 孔 位 置	
		削 孔 方 向	
	15. アンカー工 (緊張しないアンカー)	削 孔 長	段階確認及び中間検査結果の資料等により検査する。
削 孔 位 置			
削 孔 方 向			
16. 鉄筋組立	か ぶ り	段階確認及び中間検査結果の資料等により検査する。	
	平 均 間 隔		
2 ほ 場 整 備 工 事	1. 表土扱い	厚 さ	3haに1筆 2点以上
	2. 基盤造成 表土整地	基 準 高	3haに1筆 8~12点以上
		均 平 度	
		面 積	
	3. 畦畔復旧	幅	施工延長2,000mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長2,000m以下は2カ所測定する。
		高 さ	
	4. 道路工 (砂利道)	基 準 高	幹線道路については、施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		幅	
厚 さ		支線道路については、施工延長2,000mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長2,000m以下は2カ所測定する。	
施 工 延 長			
3 農 用 地 造 成 工 事	1. 耕起深耕	耕 起 深	1haあたり1カ所の割合で測定する。
	2. テラス (階段畑)	幅	施工延長1,000mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長1,000m以下は2カ所測定する。
		耕 起 幅	
		側 溝 幅	
		側 溝 高 さ	
	3. 道路工 (耕作道)	幅	施工延長1,000mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長1,000m以下は2カ所測定する。
		厚 さ	
		側 溝 幅	
		側 溝 高 さ	
	4. 土壌改良	P H 測 定	10haあたり1カ所の割合で測定する。
	5. 改良山成	基 準 高	1haあたり1カ所の割合で測定する。 施工面積1,000㎡につき1カ所の割合で測定する。
法 勾 配			



工種	内容	検査密度	
4 農 道 工 事	1. 路床工	基準高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		幅	
		中心線のずれ	
		施工延長	
	2. 路床安定処理工	基準高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		幅	
		厚さ	
		施工延長	
	3. 路盤工	基準高	施工延長200mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。
		幅	
		厚さ	
		中心線のずれ	
施工延長			
4. コンクリート舗装工 アスファルト舗装工	厚さ	厚さは、施工面積3,000㎡につき1カ所以上コアにより測定する。 ただし、施工面積3,000㎡以下は2カ所測定する。 簡易舗装の場合は、3,000㎡を1,000㎡に読替える。 施工延長200mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。	
	幅		
	中心線のずれ		
	施工延長		
	平坦性		
5. 砂利舗装工	幅	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。	
	厚さ		
	施工延長		
6. 道路トンネル	支保工	間隔	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		幅	
	コンクリート覆工	基準高	
		幅	
		巻厚	
		高さ	
		中心線のずれ	
	施工延長		
7. 道路トンネル (NATM)	支保工	間隔	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		幅	
	吹付コンクリート厚		
	ロックボルト	位置間隔	
		角度	
		深さ	
		孔径	
	コンクリート覆工	基準高	
		幅	
		巻厚	
		高さ	
中心線のずれ			
施工延長			

工 種		内 容		検 査 密 度
5	水路トンネル工	支保工	間 隔	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			幅	
		コンクリート覆工	基 準 高	
			幅	
			巻 厚	
			高 さ	
			中心線のずれ	
施工延長				
6	1. 現場打開水路	基 準 高	幅	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			厚 さ	
		高 さ		
		中心線のずれ		
		ス パ ン 長		
		施工延長		
		2. 現場打サイホン	基 準 高	
	厚 さ			
	高 さ			
	中心線のずれ			
	ス パ ン 長			
	施工延長			
	3. 現場打暗渠	基 準 高	幅	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			厚 さ	
		高 さ		
		中心線のずれ		
		ス パ ン 長		
		施工延長		
	4. コンクリート二次製品水路 (鉄筋コンクリート大型リユーム) (鉄筋コンクリートL型水路)	基 準 高	幅	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			厚 さ	
		中心線のずれ		
施工延長				
5. ボックスカルバート水路		基 準 高	中心線のずれ	
	施工延長			
	幅			
7	1. コンクリート法覆工 アスファルト法覆工	基 準 高	厚 さ	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
			法 長	
		施工延長		
			2. コンクリートブロック積み水路  鉄筋コンクリート柵渠	
	高 さ			
	施工延長			
		中心線のずれ		
	施工延長			

工 種		内 容		検 査 密 度				
7	3. ライニング水路 連節ブロック コンクリートマット	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。					
		厚 さ						
		法 長						
		施 工 延 長						
	4. 護岸工 (コンクリート張工) (アスファルト張工) (コンクリート張枠工)	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。					
		法 長						
		厚 さ						
		施 工 延 長						
	5. 護岸工 (コンクリート ブロック張工)	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。					
		高 さ						
		法 長						
		施 工 延 長						
8	1. 管体基礎工 (砂基礎等)	幅	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。					
		高 さ						
	2. 管水路 (遠心力鉄筋 コンクリート管)  RC管 PC管	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。					
		中心線のずれ						
		シ ョ イ ン ト 間 隔						
		施 工 延 長						
	3. 管水路 (ダクタイル鑄鉄管) (強化プラスチック 複合管)	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。					
		中心線のずれ						
		シ ョ イ ン ト 間 隔						
		施 工 延 長						
	4. 管水路 (硬質 ビニル管)	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。					
		埋 設 深						
		中心線のずれ						
		施 工 延 長						
	5. 管水路 (鋼 管)	管 布 設	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。 溶接、塗装は、9. 溶接 10. 塗装による (管種等の適用範囲は、仕様書等による。)				
			中心線のずれ					
			施 工 延 長					
	6. 管水路 (埋設とう性管)	た わ み 率	締 固 め な し	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。  (管種等の適用範囲は、仕様書等による。)				
			締 固 め I					
			締 固 め I 礫質土					
締 固 め II								
7. シールド工事 (一次覆工)  コンクリートセグメント 鋼製セグメント		基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。					
		中心線のずれ						
		施 工 延 長						
		た わ み 率						
8. シールド工事 (二次覆工)  既製管覆工 推進工事		基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。					
		中心線のずれ						
		シ ョ イ ン ト 間 隔						
		施 工 延 長						
9. 溶 接		施設機械等の検査の手引きによる。						
		10. 塗 装	膜 厚			施工面積50㎡につき1カ所(0.5~1.0㎡)を10点測定する。 適宜決定して検査する。		
			色 調					
外 観								

工 種		内 容	検 査 密 度
9 畑地 かん がい 施設 工事	1. スプリンクラー	埋 設 深	1haにつき2カ所以上測定する。ただし、1ha以下は2カ所測定する。
10 橋 梁 工 事	1. コンクリート桁 (ポストテンション桁)	幅	施工本数10本につき1本以上測定する。 ただし、施工本数10本以下は、2本測定する。
		高 さ	
		桁 長	
		横方向の最大曲り	
	2. 鉄筋コンクリート 床版工	基 準 高	施工数5径間につき1カ所以上測定する。 ただし、5径間以下は1カ所以上測定する。
		幅	
		厚 さ	
	3. 鉄筋コンクリート 高欄及び地覆工	高 欄 幅	施工数5径間につき1カ所以上測定する。 ただし、5径間以下は2カ所以上測定する。
		高 欄 高 さ	
		地 覆 幅	
		地 覆 高 さ	
	11 橋 脚 下 部 工 事	1. 橋台工	敷 幅
擁壁の厚さ			
高 さ			
中心線のずれ			
天 端 長			
敷 長			
胸壁間距離			
橋台沓部			「1-11精度を要するもの」による。
2. 橋脚工  (張出式) (重力式) (半重力式)		基 準 高	施工基数5基につき、1基以上測定する。 ただし、施工基数5基未満は、1基測定する。
		天 端 長	
		敷 長	
		天 端 幅	
		敷 幅	
		高 さ	
		橋脚中心間の距離	
		中心線のずれ	
3. 橋脚工  (ラーメン式)		基 準 高	施工基数5基につき、1基以上測定する。 ただし、施工基数5基未満は、1基測定する。
		天 端 長	
		天 端 幅	
		基 礎 幅	
		高 さ	
		厚 さ	
		橋脚中心間の距離	
		中心線のずれ	
12 法 面 保 護 工 事	1. ラス張  植生マット 植生シート 繊維ネット 張芝 人工張芝 むしろ張工	面 積	施工面積の10%以上測定する。  施工面積1,000㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、施工面積1,000㎡以下は2カ所測定する。
		アンカーピン数 アンカーピン及び止め釘	
		網の重ね合わせ幅	

工 種		内 容		検 査 密 度		
12 法 面 保 護 工 事	2. 植生等の工種 (伏工、吹付工類)	法	長	施工延長200mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。 または、施工面積の10%以上を測定する。		
		延	長			
		厚	さ			
		植	被 率			
	3. 法枠工	法	長	施工延長200mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。  または、施工面積1,000㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、施工面積1,000㎡以下は2カ所測定する。		
		幅				
		高	さ			
		吹付枠中心間隔				
		延	長			
	4. 特殊モルタル吹付工	面	積	施工面積の10%以上を測定する。  施工面積1,000㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、施工面積1,000㎡以下は2カ所測定する。		
		吹き付け量				
		アンカーピンの数				
網の重ね合わせ幅						
植		被 率				
13 暗 渠 排 水 工 事	1. 吸水渠	布	設 深	10本につき1本の割合で上・下流端の2カ所を測定する。 ただし、1本の施工延長が100m以上のときは、中間点を加えた3カ所。		
		間 隔				
		施 工 延 長				
	2. 集水渠 (支線) 導水渠 (幹線)	布	設 深	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。		
		施 工 延 長				
14 フ イ ル ダ ム 工 事	1. 監査廊 (暗渠タイプ)	基	準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。		
		幅				
		厚	さ			
		高	さ			
		中心線のずれ				
		ス パ ン 長				
		施 工 延 長				
	2. 堤体盛土	ゾ ン 幅	遮水ゾーン		施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。	
			フィルターゾーン			
			トランジションゾーン			
			ロックゾーン			
	3. 洪水吐	基	準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。		
			厚			さ
			幅			
高			さ			
中心線のずれ						
ス パ ン 長						
施 工 延 長						
15 頭 首 工 事	1. 本体	基	準 高	1基毎に測定する。		
		幅				
		厚	さ			
		高	さ			
		長	さ			
	2. 護床ブロック (異形ブロック)	基	準 高	施工面積500㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、施工面積500㎡以下は2カ所測定する。		
		面 積				

工 種		内 容	検 査 密 度
16 海岸 河川 工事	1. 捨石工 消波ブロック	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		幅	
17 た め 池 改 修 工 事	1. 堤体工	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		堤 幅	
		法 長	
		施 工 延 長	
	2. 洪水吐工	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		幅	
		厚 さ	
		高 さ	
		中心線のずれ	
		スパン長	
	3. 樋管工 同上付帯構造物 (土砂吐ゲート等)	基 準 高	施工延長200mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。
		幅	
		厚 さ	
		高 さ	
中心線のずれ			
18 客 土 工 事	1. 客土工	現 況 高	1haにつき2カ所以上測定する。ただし、1ha以下は2カ所測定する。
		搬 入 台 数	
		耕土補給厚さ	
		均 し 度	
19 治 山 工 事	1. コンクリートダム (本ダム、副ダム 側壁、水叩き)	基 準 高	1基毎に2カ所以上測定する。
		高 さ	
		幅 (厚さ)	
		法 勾 配	
		堤 長	
	2. その他 コンクリート構造物 (擁壁工) 土留工	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		高 さ	
		幅 (厚さ)	
		法 勾 配	
	3. 階段切付工	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		階 段 幅	
		法 勾 配	
		法 長	
	4. 暗渠工 水路工	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		高 さ	
		幅	
		ジョイントの開き	
		施 工 延 長	
	5. 植生等の工種 (土のう、芝、筋工類)	幅	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		長 さ	

工 種		内 容	検 査 密 度
19 治 山 工 事	6. 柵 工 (編柵類、丸太筋工)	長 さ	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
	7. 鋼製柵工 (なだれ、落石)	基 準 高	全基数の10%以上測定する。ただし、10基以下は2基測定する。 基礎が連続する場合には、施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長が100m以下は、2カ所測定する。
		列・柵間隔	
		中心線のずれ	
		建 込 法	
		建 込 深	
		基礎コンクリート 高 さ	
	8. アンカー付吊柵	厚 さ	全基数の10%以上測定する。ただし、10基以下は2基測定する。
		施 工 延 長	
		基 準 高	
		アンカーとロープの内角度 柵とアンカーのなす角度	
	9. 木製構造物工	列・柵間隔	全基数の10%以上測定する。ただし、10基以下は2基測定する。
		高 さ	
		長 さ	
		幅 (厚さ)	
10. グライド防止工	法 勾 配	全基数の10%以上測定する。ただし、10基以下は2基測定する。	
	水 平 間 隔		
	斜 長 間 隔		
11. 鋼製ダム (スリットタイプ)	三角枠の角度	1基毎に2カ所以上測定する。	
	基 準 高		
	堤 長		
	堤 幅		
12. 鋼製構造物 (鋼製ダム スリットタイプを除く)	高 さ	1基毎に2カ所以上測定する。	
	長 さ		
	法 勾 配		
	高 さ		
13. 山腹水路工	幅	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。	
	深 さ		
	延 長		
14. 鉄線籠等 構造物 (フン籠、蛇籠類)	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。  または、全基数の10%以上測定する。	
	高 さ		
	幅 (厚さ)		
	倒 れ		
	間 隔		
	施 工 延 長		
15. 森林整備	地拵え	施 工 面 積	施工面積の0.5haにつき1カ所以上測定する。ただし、施工面積0.5ha以下は2カ所測定する。 (面積管理図より抽出した任意の測点間距離、勾配及び包囲を計測する。)
		筋 置 幅	
	植 栽 工	植 栽 間 隔	施工面積の0.5haにつき1カ所以上測定する。ただし、施工面積0.5ha以下は2カ所測定する。(1カ所につき、縦横、苗木5~10本分をまとめた長さを測定し、その平均値を植栽間隔とする。)
		本 数	施工面積の0.5haにつき17プロット以上測定する。ただし、施工面積0.5ha以下は27プロット測定する。17プロット=10m×10m=100㎡(100㎡プロット) 地形条件より、円形プロット(r=5.65m)も可とする。(植栽間隔測定カ所をプロットに代替できる。)

工 種		内 容		検 査 密 度	
19	治山工事		施工面積	地拵えに同じ。	
		施肥	本数	施工面積2haにつき1プロット以上測定する。ただし、施工面積2ha以下は2プロット測定する。(100㎡プロット)	
			本数	施工面積2haにつき1プロット以上測定する。ただし、施工面積2ha以下は2プロット測定する。(100㎡プロット)	
		雪起し	施工面積	施工面積の2haにつき1カ所以上測定する。ただし、施工面積2ha以下は2カ所測定する。 (面積管理図より抽出した任意の測点間距離、勾配及び包囲を計測する)	
			施工面積	雪起しに同じ。	
		本数調整伐・除伐	本数	施工面積2haにつき1プロット以上測定する。ただし、施工面積2ha以下は2プロット測定する。1プロット=10m×20m=200㎡(200㎡プロット) 地形条件より、円形プロット(r=7.99m)も可とする。	
			(伐採率)		
		下刈り	施工面積	雪起しに同じ。	
		枝落とし	本数	雪起しに同じ。	
			施工面積		
		根踏・割竹設置	高さ	1プロットにつき2本以上測定する。	
			本数	雪起しに同じ。	
		客土	施工面積		
			本数	雪起しに同じ。	
		つる切	施工面積	雪起しに同じ。	
施工延長	施工延長200mにつき1カ所以上測定する。ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。  (従たる工事の場合、延長20m未満の施工は、延長測定1カ所または、断面測定1カ所に省略することができる。)				
	歩道新設・補修・刈払	断面			
		施工延長			
20	林道	IPの位置	施工延長200mにつき1カ所以上測定する。ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。 構造物については、次のとおり適用する。		
		基準高	① コンクリート擁壁、コンクリート側溝、コンクリート基礎、横断溝等 →1共通工事の10		
		法長	② ブロック積(張)、石積(張) →1共通工事の3		
		法勾配	③ コンクリート二次製品側溝 →1共通工事の12		
		幅員	④ 暗渠(ヒューム管、ボックスカルバート等) →19治山工事の4		
		側溝幅員	⑤ 栗石基礎、均しコンクリート等→1共通工事の9		
		施工延長	⑥ 種子、客土吹付等 →12法面保護工 ⑦ モルタル吹付工 →1共通工事の8		
工事	2. 路盤工	基準高	施工延長200mにつき1カ所以上測定する。ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。		
		厚さ			
		幅			
		中心線のずれ			
		施工延長			
	1. 杭打工	基準高	施工本数20本につき1本測定する。ただし、20本以下は2本測定する。		
		杭間隔			
		偏芯			



工 種		内 容	検 査 密 度
21 地 す べ り 工 事	2. 集水井工	基 準 高	1基毎に1カ所以上測定する。
		長、幅、径	
		高 さ	
		壁 厚	
	3. 集排水ボーリング	基 準 高	10孔未満1孔、10孔以上5孔超える毎に1孔測定する。 ただし、集水ボーリング数と排水ボーリング数は、別々にカウントする。
		方 向	
		傾 斜 角	
		長 さ	
	4. その他の堰堤工 及び法留工  (鋼製プレキャスト コンクリート自在枠等)	基 準 高	1基毎に1カ所以上測定する。
		高 さ	
		幅	
		倒 れ	
延 長			
22 補 強 土 壁 工 事	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。	
			高 さ
			鉛 直 度
		(植生工が伴う場合は、植被率について、施工面積500㎡につき1カ所以上測定する。ただし、500㎡いかは2カ所測定する。)	
	延 長	1施工カ所毎に測定する。	

注) (1) 検査は、実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合や、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、出来形管理図表、写真、ビデオ、監督員の確認資料及び品質証明書等により検査することができる。

(2) 施工延長とは、施工のべ延長をいう。

別表 3-2 出来形検査基準

(土木工事)

工 種		内 容	検 査 密 度	
一 般 施 工	矢板工	矢板	基準高、変位、根入長、延長 100mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上。)	
		頭冠コンクリート	基準高、幅、高さ	
	法 枠 工 (現場打、プレキャスト)	幅、高さ、法長、法勾配、間隔、延長	200mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上。)	
	吹 付 工 (モルタル、コンクリート、厚層基材)	厚さ、法長、延長		
	植 生 工 (種子、張芝、筋芝、市松芝、種子帯、植生ネット)	厚さ、法長、延長		
	基 礎 工	基礎材 (クラッシャーラン、栗石、均しコンクリート)	幅、厚さ、延長	200mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上。)
		基礎コンクリート	基準高、幅、高さ 延長	
		基礎杭	基準高、根入長、径、偏心量	杭5本につき1本以上
		ケーソン (オープン、ニューマチック)	基準高、長さ、高さ、幅、壁厚、偏心量	1基につき1箇所以上
	石、ブロック積(張)工	基準高、法長、法勾配、厚さ、控長、延長	基準高、法長、延長は、100mにつき1箇所以上 (ただし、施工延長100m以下の場合は、2箇所以上。)  控長、厚さは工事写真、出来形管理図で確認できない場合は、1,000㎡につき1箇所以上。(ただし、1,000㎡以下の場合は2箇所以上。) 抜石(ブロック)により検査。  なお、抜石(ブロック)箇所の選定にあたっては、かたよることなく、全体が把握できるように適切に選定する。	
道 路	舗装工	路盤 (上層、下層)	基準高、幅、高さ 延長 200mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上。)	
		舗装 (表層、基層)	基準高、幅、厚さ、横断勾配、平坦性、 二二 平坦性は、資料検査。厚さは施工面積10,000㎡につき1箇所以上(ただし、施工面積10,000㎡以下の場合は2箇所以上)コアにより検査。 なお、コア箇所の選定にあたっては、かたよることなく全体が把握できるように適切に選定する。	
	地盤改良工	基準高、幅、厚さ、延長	200mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上。)	
	土工 (盛土、切土)	基準高、幅、法長、法勾配	200mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上。)	
	アンカー工	抑止アンカー (緊張するアンカー)	削孔長、削孔位置、削孔方向	段階確認結果の資料等により検査
アンカー (緊張しないアンカー)				

工 種		内 容	検 査 密 度
道 路 改 良 工	現場打擁壁 プレキャスト擁壁	基準高、幅、厚さ、高さ、延長、法勾配	100mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上。)
	井桁ブロック	基準高、法長、法勾配、厚さ、延長	
	現場打 ボックスカルバート	基準高、厚さ、幅、高さ、延長	1施工につき1箇所以上。
	プレキャスト ボックスカルバート		
	現場打U型側溝		100mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上。)
	プレキャスト U型側溝		
	落石防護柵	高さ、延長	1施工箇所につき1箇所以上。
	防雪柵		
	落石防止網	幅、延長	
	橋 梁 上 ・ 下 部 工	橋梁下部 (橋台、橋脚)	基準高、幅、厚さ、高さ、径間長、変位
橋梁上部 (鋼橋、コンクリート橋)		部材寸法、基準高、支間長、主桁の中心間距離、キャンバー	部材寸法は、各径間の主桁等主要部材毎に1箇所以上。その他は、5径間以上は2径間につき1箇所以上。(ただし、5径間以下の場合は2箇所以上。)
ト ン ネ ル 工	覆 工	基準高、幅、厚さ、高さ、延長、間隔、偏心量	両坑口部を含めて100mにつき1箇所以上。(ただし、施工延長200m以下の場合は、両坑口を含めて3箇所以上。吹き付けコンクリートの厚さは、各箇所毎に7点以上。)
	吹付コンクリート	厚さ	
	坑 門	基準高、幅、高さ、延長	1施工箇所につき1箇所以上。
河 川	築堤護岸工	基準高、幅、厚さ、高さ、法長、法勾配、延長	200mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上。)
	浚渫工(川)	基準高、幅、深さ、延長	
	樋門、樋管工	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	樋門、樋管工、水門は、1基につき2箇所以上。呑口部は1箇所以上。
	水門工		
海 岸	堤防護岸工	基準高、幅、厚さ、高さ、法長、法勾配、延長	100mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上。)
	突堤、人工岬工		
	離岸堤工		根固め、消波ブロックは、ブロック個数100個につき1個以上。 (ただし、ブロック個数100個以下の場合は2個以上。)
	浚渫工(海)	基準高、幅、深さ、延長	

工 種		内 容	検 査 密 度	
砂 防	砂防ダム工 (本体、側壁、水叩)	基準高、幅、厚 さ、高さ、延長、 法勾配	1施工箇所につき1箇所以上。	
	流路工	基準高、幅、厚 さ、高さ、延長	200mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上。)	
	斜 面 対 策 工	盲暗渠	基準高、延長、 幅、厚さ	100mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上。)
		U型側溝	基準高、幅、厚 さ、高さ、延長	
		集排水ボーリング	削孔長、削孔位 置、削孔方向	段階確認結果の資料等により検査
集水井		基準高、深さ、 径、偏心量	1施工箇所につき1箇所以上。	
港 湾	岸壁、防波堤工 (ケーソン、上部コンクリー ト)	基準高、幅、長 さ、高さ、壁厚	100mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上。)	
	浚渫工(海)	基準高、幅、深 さ、延長		
下 水 道	管 渠 設 置 工	推進管渠	基準高、だ行、延 長、管径	100mにつき1箇所以上測定する。 (ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上。)
		開削管渠	基準高、幅、高 さ、だ行、延長、 管径	
		シールド (1・2次覆工)	基準高、厚さ、だ 行、延長、内径	
		人 孔	基準高、幅、高 さ、厚さ	1施工箇所につき1箇所以上。
ダム	コンクリートダム工	基準高、幅、ジョ イント、間隔、延長、勾 配	5ジョイントにつき1箇所以上。	
	フィルダム工 (コア、フィルター、ロック)	基準高、盛立幅、 勾配、ゾーン境界 線	5測点につき1箇所以上。	
その他の構造物		工種に応じ、基準 高、幅、厚さ、高 さ、深さ、法長、 長さ等	同種構造物を準用。	

注) (1) 検査は、実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合や、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、出来形管理図表、写真、ビデオ、監督員の確認資料及び品質証明書等により検査することができる。

(2) 施工延長とは、施工のべ延長をいう。

別表 3-3 出来形検査基準

(建築工事)

工 種		検 査 項 目	検 査 方 法
1	仮設工事	指定仮設の規格寸法	指定仮設物の種類毎に1箇所以上
2	土工事	掘削・埋戻し土量	土量管理表と施工写真
3	地業工事	杭、ラップルの規格、芯ずれ 土壌改良の範囲と深度	杭工事施工管理図と施工写真 改良材数量管理表と施工写真
4	鉄筋工事	径と接合定着長さ	工事写真及び配筋検査写真による
5	コンクリート工事	柱、梁等の寸法	同寸部材毎に1箇所以上測定
6	鉄骨工事	形鋼の規格寸法と接合部	構造上主要な部分につき1箇所以上測定
7	ブロック等工事	ブロック、パネル、成形板等の規格寸法	材料毎に1箇所以上測定
8	防水工事	工法の確認、施工面積	施工範囲の確認
9	石工事	工法毎の施工面積	材種毎に施工範囲を確認
10	タイル工事	工法毎の施工面積	材種毎に施工範囲を確認
11	木工事	材種、部位毎の寸法	部位別に1箇所以上測定
12	屋根工事	工法・規格の種類	葺き材の規格測定1箇所以上
13	金属工事	軽量鉄骨下地、手すり、タラップ、 アルミ笠木等の規格寸法	種類毎に1箇所以上測定
14	左官工事	工法別施工面積と厚さ	工法別施工範囲の確認
15	建具工事	種類別形状寸法、金物、ガラス	種類毎の枠見込、開口寸法の種類
16	塗装工事	施工面積	仕様毎の施工範囲の確認
17	内装工事	材料毎の規格、施工面積	材料毎の規格確認
18	舗装工事	路盤、舗装の厚みと施工面積 側溝、縁石は規格と延長	コアは1箇所以上 施工面積、長さ、レベルは出来形管理図に基づき 2箇所以上測定
19	排水工事	管径、樹の規格、延長	管径毎に測定
20	植栽工事	樹種毎の規格、数量 地被は規格と施工面積	樹種毎に1本以上測定 地被は出来形管理図により2箇所以上測定
21	カーテンウォール工事	規格毎の寸法、施工面積	規格毎に1箇所以上測定
22	ユニットその他工事	規格毎の寸法、数量、施工面積	規格毎に1箇所以上測定
23	防水改修	改修部分の面積	既存防水層や押え層の処理範囲の確認
24	外壁改修	改修部分の面積、補修長さ	浮き、クラック計測図により確認
25	建具改修	工法別改修箇所	建具リストによる施工範囲の確認
26	内装・塗装改修	撤去改修箇所	下地の撤去、補修状況の目視確認
27	耐震改修	施工範囲と箇所	耐震壁の長さの計測確認
28	解体工事	解体材の数量	発生材調書等とマニフェストの確認

注) 検査は、実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合や、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、出来形管理図表、写真、ビデオ、監督員の確認資料及び品質証明書等により検査することができる。

別表 3-4 出来形検査基準

(電気設備工事)

工 種		検 査 項 目	検 査 方 法
共通	1	共通工事 地業、コンクリート、左官	基礎等の寸法 目視、工事写真 全数
	2	塗装工事	施工種別 目視、工事写真 種別毎
	3	機械設備工事	材料の種別、位置 目視、工事写真 種別毎
電力設備	4	材料(電線・ケーブル、電線管、ケーブルラック等)	材料の規格、取付状態 使用資材届、目視、工事写真 種別毎
	5	外線材料(電柱、装柱材料、ケーブル保護材、ハンドホール)	材料の規格、据付・取付状態 使用資材届、規格証明書、目視、工事写真 種別毎
	6	照明器具	規格、形式、取付状態 納入仕様書、標準図、目視、工事写真 種別毎
	7	盤類(分電盤、制御盤)	種別、形式、据付状態 納入仕様書、標準図、目視、工事写真 全数
	8	避雷設備	突針、接地極、導線仕様 納入仕様書、目視、工事写真 全数
受変電・静止形電源設備	9	キュービクル式配電盤	規格、形状、据付状態、耐震 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	10	開放型配電盤	規格、形状、据付状態、耐震 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	11	高圧機器	規格、形状、据付状態、耐震 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	12	直流電源装置	規格、形状、据付状態、耐震 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	13	交流無停電電源装置(UPS)	規格、形状、据付状態、耐震 納入仕様書、目視、工事写真 全数
自家発電設備	14	発電機	規格、表示銘板確認、据付状態 耐震処置(装置として)、防鼠処理 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	15	原動機	規格、形状、据付状態、防鼠処理 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	16	配電盤	規格、取付状態、耐震処置 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	17	補機付属装置等	規格、取付状態 納入仕様書、標準図、目視、工事写真 全数
	18	配管、配線材料	規格、施工状況 納入仕様書、目視、工事写真 全数
通信・情報設備	19	配線材料(電線、電線保護物、端子盤等)	規格、形式、取付状態 納入仕様書、標準図、目視、工事写真 種別毎
	20	構内交換装置 構内情報通信装置	形式、容量、機能、据付状態 納入仕様書、標準図、目視 全数
	21	拡声装置、非常放送装置	規格、定格、取付状態 納入仕様書、標準図、目視 種別毎
	22	電気時計装置	形式、取付状態 納入仕様書、標準図、目視 種別毎
	23	テレビ・共同受信装置	形式、取付状態 納入仕様書、目視 種別毎
	24	自動火災報知装置 自動閉鎖装置	形式、容量、取付状態 納入仕様書、目視 種別毎

注) 検査は、実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合や、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、出来形管理図表、写真、ビデオ、監督員の確認資料及び品質証明書等により検査することができる。

別表 3-5 出来形検査基準

(機械設備工事)

工 種		検 査 項 目	検 査 方 法
共 通	1	配管工事	材料の種類、位置 使用資材届、目視、工事写真 種別毎
	2	保温工事	施工種別、仕上がり状態 使用資材届、目視、工事写真 種別毎
	3	塗装及び防錆工事	施工種別 目視、工事写真 種別毎
	4	電気工事	材料の種類、位置 使用資材届、目視、工事写真 種別毎
	5	関連工事 地業、コンクリート、左官	基礎の寸法 目視、工事写真 全数
空 調 設 備	6	熱源機器	規格、仕様、据付(耐震) 納入仕様書、標準図、目視、 工事写真 全数
	7	空気調和機	構成、仕様、据付(耐震) 納入仕様書、標準図、目視、 工事写真 全数
	8	放熱器及び付属品	構成、仕様、取付状態 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	9	送風機及びポンプ	種別、仕様、据付状態 納入仕様書、標準図、目視、 工事写真 全数
	10	その他の機器	種別、仕様、取付状態 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	11	ダクト及び付属品	材料の種類、工法、設置状況 使用資材届、目視、工事写真 全数
自 動 制 御	12	自動制御設備	構成、制御方式、取付状態 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	13	中央監視制御設備	構成、機能容量、据付状態 納入仕様書、目視、工事写真 全数
給 排 水 衛 生 設 備	14	衛生器具	外観、品質(JIS)、取付状態 納入仕様書、(標準図)、目視、 工事写真 種別毎
	15	ポンプ	種別、仕様、据付状態 納入仕様書、標準図、目視、 工事写真 全数
	16	給湯、温水機器	種別、仕様、取付状態 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	17	消火設備	種別、形状、取付状態 納入仕様書、標準図、目視、 工事写真 全数
	18	厨房設備	種別、形状、据付(耐震) 納入仕様書、目視、工事写真 全数
	19	ガス機器	種別、形状、据付(耐震) 納入仕様書、目視、工事写真 種別毎
	20	し尿浄化槽	型式、据付状態 納入仕様書、目視、工事写真 全数

注) 検査は、実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合や、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、出来形管理図表、写真、ビデオ、監督員の確認資料及び品質証明書等により検査することができる。

別表 4-1、4-2 品質検査基準

(農林・土木工事)

工 種	検 査 内 容	検 査 方 法
材 料	品質形状は、設計図書等と比較して適切か。	① 品質証明書により検査
基 礎 工 (鋼管杭、H鋼杭、 コンクリート杭)	(1) 基礎の位置、上部との接合及び溶接部は適切か。 (2) 支持力は、設計図書と比較して適切か。	① 試験結果の資料により検査。
土 工	(1) 土質、岩質は設計図書と一致しているか。 (2) 支持力又は締め固め密度は、設計図書と対比して適切か。	① 試験結果の資料により検査。 ② 適切であると判断できる資料等がない場合は実測。
コンクリート工 (無筋コンクリート、 鉄筋コンクリート、 モルタル)	コンクリート・モルタルの強度、スランプ、塩化物総量値、アルカリ骨材反応対策等は、設計図書と対比して適切か。	① 試験結果の資料により検査。 ② コンクリート強度については、テストハンマーにより同種構造物毎に検査。 ③ 設計強度があると判断することが困難な場合はコアを採取して実測。(JIS A-11071による)
溶 接 工	溶接部のビートやその周辺に割れの箇所がない等、適切に溶接されているか。	① 浸透探傷試験(カラーチェック)等により検査。 ② すみ肉溶接試験等は、試験結果の資料により検査。
ガス圧接工	鉄筋を圧接する接合部は適切か。	① 試験結果の資料により検査。
アンカー工	抑止アンカー 品質保証試験がグラウンドアンカー設計・施工基準に基づき実施され、同基準の引っ張り荷重に対して安全か。 (緊張するアンカー) アンカー 県土木部編「鉄筋挿入工マニュアル(案)」及び特別(特記)仕様書に基づき実施され、地山と一体になり、容易に抜けないように施工されているか。 (緊張しないアンカー)	① 試験結果の資料により検査。 各確認試験の一定量を中間検査及び監督員確認を実施していること。 ② 適切であると判断できる資料等がない場合は、確認試験を実施。
捨 石 工 (石材)	岩の比重、圧縮強度等が適切か。	① 試験結果の資料により検査。
路 盤 工	(1) 路盤材料の合成粒度は、設計図書と対比して適切か。 (2) 支持力又は締め固め密度は、設計図書と対比して適切か。	① 試験結果の資料により検査。 ② 適切であると判断できる資料等がない場合は実測。
アスファルト舗装工	アスファルト使用量、骨材粒度、密度及び舗設温度は、設計図書と対比して適切か。	① アスファルト混合物事前審査委員会が認定した合材を使用しているか。認定通知書の内容等の検査。 ② 同委員会が認定していない合材を使用している場合で、配合設計等が適切であると判断できる資料等がない場合は実測。
二次製品類 (コンクリート、鋼材)	(1) 工場検査は実施されているか。 (2) 工場報告書等で品質が確認できるか。	① 品質証明書により検査。
構造物の機能	構造物又は付属設備等の機能は、設計図書と対比して適切か。	① 実際に操作して検査。
その他の構造物	設計図書と対比して適切か。	① 試験結果の資料により検査。 ② 適切であると判断できる資料等がない場合は実測。



# 別表 4-3 品質検査基準

(建築工事)

工 種		検 査 内 容	検 査 方 法
1	仮設工事	指定仮設の規格寸法 現場事務所の内容 整理清掃状況	仮設計画図 目視 施工写真、目視
2	土工事	掘削の安全性、転圧状況、切梁・土留 排水状況、残土処理	仮設計画図 施工写真、残土処理伝票
3	地業工事	規格杭の品質、指示地盤 現場打ち杭の鉄筋、コンクリート強度 土壌改良の効果	杭の品質証明、コンクリート強度試験成績書 鉄筋の品質証明 土壌改良材の品質、使用数量管理表
4	鉄筋工事	材料規格・品質、圧接部強度	ミルシート、圧接部の超音波探傷試験成績書
5	コンクリート工事	レディーミストコンクリートの規格、強度 コンクリート表面の状況	配合設計書、強度試験成績書(場合によりシュミット ハンマーによる現地試験)、 表面の状況は目視、施工写真
6	鉄骨工事	規格・品質、溶接部強度 ホルト接合部の状況	鋼材のミルシート、圧接部の超音波探傷試験成績書 HTBの品質証明、HTBの締付トルク
7	ブロック等工事	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント 板の規格・品質・取付状況	材料の品質証明、JIS工場の出荷証明書、 取付施工写真
8	防水工事	下地の乾燥状況、材料の品質・使用 量漏水の有無	出荷証明・使用数量管理表 必要に応じて水張り試験・塗膜検査
9	石工事	材料規格、取付状況	材料・取付金物等の品質証明書、施工写真、 目視、打診
10	タイル工事	材料規格、接着状況	材料の品質証明、接着力試験成績書(外壁等 100㎡毎)、目視、打診
11	木工事	材料の農林規格、表面形状 接合部、仕口	JASマークの確認、金物の品質証明、 造作材は見えかきを目視により検査、 接合部・仕口は施工写真
12	屋根及びとい工事	材料規格、取付状況	下地の状況、折曲げはぎ合せ等の施工写真
13	金属工事	軽量鉄骨下地の止め付け防錆 手すり・タラップの表面仕上げ及び支持 アルミ笠木の継手部の止水	施工写真及び目視で種類毎に1箇所以上
14	左官工事	下地処理、養生、塗膜、吹付け量、 表面状況、ひび割れ、浮き	施工写真、材料使用管理表 目視・打診
15	建具工事	アルミ建具の表面処理、鋼製建具等の 塗装、木製建具のそり、建築金物・ シャッターの作動状況、ガラスの品質、網 入りガラスの小口防錆	各種品質証明書、動作試験  ガラスの厚さ測定
16	塗装工事	下地処理、膜厚、むら	施工写真、材料使用数量管理表、目視
17	内装工事	材料規格、留め付け、貼り付け状況、 納まり	材料の品質証明、施工写真、目視・打診
18	舗装工事	路床転圧、路盤締固め、舗装平坦 性、透水性能、材料規格	施工写真、修正CBR、マーシャル試験(300㎡以上)、 レベル測定
19	排水工事	材料の規格、排水勾配	出荷証明書、レベル測定
20	植栽工事	樹木の品質、樹勢、張り芝の水はけ、 は種・地被類のむら	目視
21	カーテンウォール工事	耐風圧・地震・水密・気密・耐火・遮 音・断熱性能、取付	性能試験成績書、施工写真
22	ユニットその他工事	ユニットの性能、作動、納まり	規格寸法測定、目視
23	防水改修	撤去範囲、工法、下地ケレン、水洗状況	工事写真、目視
24	外壁改修	ピンニング、Uカット、注入後の状況	打診、目視
25	建具改修	ハツリ、切断等の状況、既設枠の処理状況	目視、工事写真
26	内装・塗装改修	下地の撤去補修状況、 既設塗装の剥離ケレン状況	目視、工事写真
27	耐震改修	鉄筋後施工アンカー等の性能、鋼材の強度	試験成績表、目視、工事写真
28	解体工事	騒音・振動・塵埃・汚水等の遮断	施工写真

別表 4-4 品質検査基準

(電気設備工事)

工 種		検 査 内 容	検 査 方 法
共通	1	共通工事 地業、コンクリート、左官	コンクリート規格、養生、ひび割れ 配合計画書、目視写真 全数
	2	塗装工事	下地処理、塗り回数、むら 使用資材届、目視、工事写真 種別毎
	3	機械設備工事	材質、寸法、給排水の状態 使用資材届、施工試験成績表 種別毎
電力設備	4	配線	電線の接続・識別、電線と機器との接続、他との離隔、防火区画貫通処理、接地状態 目視、工事写真、施工試験成績表 種別毎
		配管	端口処理、屈曲・分岐・支持状態 目視、工事写真、施工試験成績表 種別毎
		ケーブルラック布設	支持間隔、接続状態 目視、工事写真、施工図 種別毎
	5	架空配線(建柱)	根入れ、根かせ、装柱材料 目視、工事写真、施工図 全数
		架空配線(架線)	接続箇所の絶縁処理、引込口 目視、工事写真、施工図 全数
		地中配線	掘削・埋戻し、ハンドホール 目視、工事写真、施工図 全数
		接地	接地抵抗測定 接地抵抗試験成績書(実測) 全数
	6	照明器具	点灯状態、照度分布 点灯試験、照度測定表 全数
7	盤類(分電盤、制御盤)	シーケンス試験 機材・施工試験成績書 全数	
8	避雷設備	避雷導線・接地極の布設、接地抵抗測定 目視、工事写真、施工図 接地抵抗試験成績表(実測) 全数	
受変電・静止形電源設備	9	キュービカル式配電盤	構造、操作性能、動作、絶縁抵抗耐電圧 機材・施工試験成績書、実測 全数
	10	開放型配電盤	構造、操作性能、動作、絶縁抵抗耐電圧 機材・施工試験成績書、実測 全数
	11	高圧機器	構造、操作性能、動作 機材・施工試験成績書 全数
	12	直流電源装置	構造、性能試験 機材・施工試験成績書 全数
	13	交流無停電電源装置(UPS)	構造、性能試験 機材・施工試験成績書 全数
自家発電設備	14	発電機	構造、絶縁抵抗、耐電圧 機材・施工試験成績書 全数
	15	原動機	構造、性能試験、騒音測定 機材・施工試験成績書 全数
	16	配電盤	構造、性能試験、動作確認 機材・施工試験成績書 全数
	17	補機付属装置等	性能試験、動作確認 機材・施工試験成績書 全数
	18	配管、配線材料	漏れ、振動、断熱(排気系)高温部からの離隔(配線) 施工試験成績書、目視 全数
通信・情報設備	19	配線材料(電線、電線保護物、端子盤等)	機器端子との接続、絶縁抵抗防火区画貫通処理、支持間隔 目視、施工試験成績書 種別毎
	20	構内交換装置 構内情報通信装置	構造、絶縁抵抗、耐電圧、動作 機材・施工試験成績書 全数
	21	拡声装置、非常放送装置	構造、出力信号、調針、精度絶縁抵抗、耐電圧 機材・施工試験成績書 全数
	22	電気時計装置	構造、特性、出力、温度上昇絶縁抵抗、耐電圧 目視、施工試験成績書 種別毎
	23	テレビ・共同受信装置	構造、特性 目視、施工試験成績書 種別毎
	24	自動火災報知装置 自動閉鎖装置	構造、作動、(消防認定票) 目視、施工試験成績書 種別毎

別表 4-5 品質検査基準

(機械設備工事)

工 種		検 査 項 目	検 査 方 法	
共 通	1	配管工事	勾配、支持状態、埋設状態 水圧、満水、気密、防火区画 防水層等の貫通処理	目視、工事写真、施工試験成績書 種別毎
	2	保温工事	施工種別、施工順序・密度 防火区画の貫通処理	目視、工事写真 種別毎
	3	塗装及び防錆工事	下地処理、膜厚、むら	目視、工事写真 種別毎
	4	電気工事	材質、寸法、通線・配線の状態	接地・絶縁抵抗試験 種別毎
	5	関連工事 地業、コンクリート、左官	コンクリート規格、養生、ひび割れ	配合計画書、目視 全数
空 調 設 備	6	熱源機器	品質、性能、運転	機材・施工試験成績書、目視 全数
	7	空気調和機	品質、能力、運転	機材・施工試験成績書、目視 全数
	8	放熱器及び付属品	品質、能力	機材試験成績書 全数
	9	送風機及びポンプ	品質、能力、運転	機材試験成績書 全数
	10	その他の機器	品質、性能	品質保証書 種別毎
	11	ダクト及び付属品	気密、品質、支持状態 防火区画の貫通部の処理	風量測定、標準図、目視、 工事写真 種別毎
自 動 制 御	12	自動制御設備	盤の構造、調整状態、作動	品質保証書、実測 種別毎
	13	中央監視制御設備	基本機能、総合調整、作動	品質保証書、 機材・施工試験成績書、実測 全数
給 排 水 衛 生 設 備	14	衛生器具	品質、通水、満水、作動	目視、実測 種別毎
	15	ポンプ	材質、能力、運転	機材試験成績書、実測 全数
	16	給湯、温水機器	能力、作動	機材試験成績書、実測 全数
	17	消火設備	消防認定確認、品質、性能	消防認定票、品質保証書 全数
	18	厨房設備	材質、能力、作動	各機関合格証票、目視、実測 全数
	19	ガス機器	品質、能力、作動(点火)	機材試験成績書、目視、実測 種別毎
	20	し尿浄化槽	品質、性能、水張り、総合運転 (処理水の水質分析)	品質保証書、目視、実測 全数

別表 5 出来ばえの検査基準 (参考)

(全工事)

工種	項目	検査内容
農林工事 土木工事	盛土、築堤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕上げ面、とおり等の全体的美観</li> <li>・端部の処理、構造物へのすりつけ状況</li> </ul>
	コンクリート構造物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリートのクラック、気泡孔の状況</li> <li>・構造物のとおり、天端仕上げ、端部仕上げの状況</li> <li>・目地位置、打継ぎ目の処理状況、段差、ずれの有無</li> <li>・全体的な外観</li> </ul>
	舗装工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装表面の平坦性、均一性、雨水処理の状況</li> <li>・構造物へのすりつけ、とおり、端部処理の状況</li> <li>・全体的な美観</li> </ul>
	法面工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕上がり面、勾配のとおり等、全体的な美観。</li> <li>・浮き石等の有無。</li> <li>・植生の活着、色むらの状態</li> <li>・構造物との端部処理の状況</li> </ul>
	鋼橋工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶接、塗装の均一性。</li> <li>・表面の補修箇所の有無</li> <li>・傷、錆の有無</li> <li>・全体的な美観</li> </ul>
	植栽工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木の活着状況</li> <li>・支柱の取付状況</li> <li>・全体的な美観</li> </ul>
	コンクリート二次製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋の露出、ひび割れ、豆板の有無</li> <li>・ヘヤークラック、欠け、気泡孔、表面の凸凹、反り等の状況</li> <li>・目地の処理状況</li> <li>・段差、ずれの有無</li> <li>・全体的な美観</li> </ul>
建築工事		<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物のとおり、形状は良いか</li> <li>・仕上げの均一性、平坦性は良いか</li> <li>・各部の取り合い、納まりは良いか</li> <li>・割付、柄合わせ、接合は良いか</li> <li>・使い易さへの配慮は適切か</li> <li>・取り付け、作動、操作性は良いか</li> <li>・関連工事との取り合いは良いか</li> <li>・きめ細かな施工がなされており、全体的な美観は良いか</li> <li>・清掃、クリーニングは良いか</li> </ul>
電気設備工事		<ul style="list-style-type: none"> <li>・使い易さ、安全性、環境、維持管理等への配慮は適切か</li> <li>・仕上がりは良いか</li> <li>・納まりはよいか</li> <li>・配管、配線が整然としているか</li> <li>・配線器具、機器、盤類等の配置のバランスは良いか</li> <li>・関連工事との取り合いは良いか</li> <li>・きめ細かな施工がなされており、全体的な美観は良いか</li> <li>・清掃、クリーニングは良いか</li> </ul>
機械設備工事		<ul style="list-style-type: none"> <li>・使い易さ、安全性、環境、維持管理等への配慮は適切か</li> <li>・仕上がりは良いか</li> <li>・機器、配管等の納まりは良いか</li> <li>・各機器の支持据付のバランスは良いか</li> <li>・操作性は良いか</li> <li>・関連工事との取り合いは良いか</li> <li>・きめ細かな施工がなされており、全体的な美観は良いか</li> <li>・清掃、クリーニングは良いか</li> </ul>